



心も体も元気な岡村っ子

おもいやりを持ち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより R6.2.29

岡村小学校で検索



未来

校長 川村 真弘



岡村小学校を巣立つ子どもたちの未来を応援する。未来の設計図を自分の力で描き自ら切り拓いて、素敵な人生を送ってほしいと願う。つらいことや悔しいことがあっても、あきらめず、あがいて、頑張ってもらいたいと祈る。

あきらめず、あがく

満点の空をキャンパスに見立て煌めく星を線で結んで星座を描く。厳寒の空にはオリオン座が圧巻だ。その舞台に月も加えて幻想的に神話を物語る。そして、深淵、静謐の宇宙空間を実際に探査機が月面着陸を目指して飛行していることを想像して感動する。



日本初の月面への着陸を目指す無人探査機「SLIM」は、2023年9月に種子島宇宙センターから打ち上げられ、12月25日に月を周回する軌道に入り、2024年1月20日に月面に着陸した。私は夢と希望を乗せた無人探査機「SLIM」に未来の岡村っ子を想像する。

月面着陸は、これまで旧ソビエト（1966年）、アメリカ（1966年）、中国（2013年）、インド（2023年）が成功し、日本は5番目の快挙だ。「SLIM」は「月の起源」の解明のため、探査には日本伝統のおもちゃ作り技術も生かされる。いつか、おもちゃが月面を走る姿を想像してワクワクする。

約60年前、岡村小学校創立の時代から世界は宇宙を目指し、月面着陸を想定し、月面開発に夢を抱き、多くの失敗を繰り返してもなお、あきらめずにトライ&エラーを続けてきた。今回の日本の成功も、あきらめなければ可能になることを証明し、目標に向かう途中はどんなにあがいても構わないことを示唆する。

未来は自らの力で切り拓いていくものだ。あきらめそうになったときは星を眺め、宇宙に想いを馳せてみる。くじけそうになった時は月を見て、未来を想像してみる。あきらめず、あがけ！岡村っ子。（2023年度卒業アルバムから引用）

保護者、地域、学校関係者の皆様。令和5年度も、たいへんお世話になりました。来る令和6年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

横浜市立岡村小学校教職員一同

